

活動写真

1. 不発弾処理技術移譲

(1) 訓練センターにおける学科教育

【訓練センター教官及びSEODに対する集合教育】

実施期間: 3回目(8月3日～7日)



講義を行うJMAS専門家



SEODからの質問に答えるJMAS専門家



学科教育終了後の記念写真(中央3名女性SEOD)

第3回目の教育終了をもってSEODの総数28名(男性25名、女性3名)に対する学科教育を完了

【TLに対する集合教育】

実施期間: 2回目(6月8日～12日)



実習教育を行うJMAS専門家



カット時の振動を確認するJMAS専門家

実施期間:3回目(8月17日~21日)



一連の補佐作業が出来るようカット実習を行うTL



ホイスト及、三脚ヘット及びアルクレーンの説明を行うJMAS専門家

実施期間:4回目(9月14日~18日)



信管の説明を行うJMAS専門家



電子音聴器の説明を行うJMAS専門家



JMAS専門家の講義を受けるTL



TLの器材準備を指導するJMAS専門家



カット実習を行うTL



カット時の摩擦熱を下げるため水を掛けながらカットを行う



カット位置の決定を行う女性TL



一連の補助作業が実施できるようカット実習を行うTL

【一般隊員に対する課程教育】
実施期間：1回目（7月14日～16日）

「ラオス不発弾処理機関に対する不発弾処理技術移譲
及び不発弾訓練センター建替え事業（第1次）」



第1回目の一般隊員教育に参加したUXO Laoアッパー県支部隊員



火薬類・弾薬類の特性、機能及び不発弾の取り扱い、処理要領について講義を受ける一般隊員



信管機能について講義を行うJMAS専門家

(2)OJT

実施期間:3回目(UXO Laoサワンナケート県支部/5月6日~8日)



不発弾の状態を確認するUXO Lao隊員



不発弾の発掘



のこぎりカット訓練に使用する不発弾



カット位置の決定



切込みを付けるSEOD



カットを行うSEOD



落下時の衝撃により不発弾が変形し切断面がゆがんだ状態になる場合は通常より多くのカット時間を要する。

実施期間:4回目(UXO Laoサラワン県支部/5月11日~13日)



訓練に使用する不発弾の確認を行うJMAS専門家
とSEOD



のこぎりカット訓練に使用する不発弾



JMAS専門家の指導を受けながらカットを行うSEOD



慎重に作業を進めるSEOD



SEODの作業を補助するTL
手鋸(80cm)を用いてカットを実施



カット終了後、火薬の焼却処分準備を行うSEOD及びTL



焼却処分の様子



処分終了後の様子



カット終了後のJMAS専門家とUXO Lao隊員

実施期間:5回目(UXO Laoカムワン県支部/10月6日~8日)



電子音聴器の確認



ホイスト及び三脚ヘットを使用して不発弾の発掘を行うUXO Lao隊員



不発弾の状態を確認するJMAS専門家



カット位置の決定を行うSEOD



電気ノコギリにてカット実施



SEODの作業を補助するTL
手鋸(80cm)を用いてカットを実施

実施期間:6回目(UXO Laoサワンナケート県支部/10月12日~14日)



不発弾の状態を確認するJMAS専門家



のこぎりカットに使用する資機材一式



カット位置の指導を行うJMAS専門家



カット実施時の不発弾への振動を確認するJMAS
専門家



SEODの作業を補助するTL
手鋸(80cm)を用いてカットを実施



カット後の不発弾断面

2. 訓練センター建替え (1) 教場



柱と壁の位置を確認するJMAS建築専門家



柱の位置を確認し作業員に指導を行うJMAS建築専門家



トラス間隔の計測



溶接を行う作業員



錆止めペンキを塗る作業員



溶接を行う作業員に指導を行う
JMAS建築専門家



トラス間隔の計測



設計図面での確認を行うJMAS建築
専門家



教場外周の計測



屋根トラス鉄骨の確認を行う建築
専門家補佐及び建築専門家通訳



施工方法の確認



8月11日: 工事再開



基礎の修正を行うため掘り返し開始



重機が入るスペースがある場所はショベルカーで掘り返しを実施



壁や柱の間で重機が入れない狭い場所は人力での掘り返しを実施



柱の位置の測量実施



現在の訓練センターの水量では工事用水が足りないため、井戸を掘り水道を追加する事となった。
(費用PPS負担)



各作業において確認を行い、次の作業指示を行う現場技術者



修正を指示する現場技術者



最終位置確認を建築専門家通訳と行う現場技術者



梁下の基礎の補強



コンクリートを打設するための木枠を設置



「200×400mm」の柱を「350×700mm」に補強



突き固めを実施



コンクリート打設前スペーサーを挟む作業員



教場床へのコンクリート打設作業①



教場床へのコンクリート打設作業②



床コンクリートの厚さを確認(120mm)



柱の補強



レンガ壁の再施工



11月9日: UXO Lao、PPS及びJMASIにて、完成工事確認の実施



9月13日: コンクリート打設作業



11月9日: タイルの確認完了



教場建設現場 8月28日



教場建設現場 9月19日



教場建築現場10月17日

※同じ柱
8月11日
工事再開時
の様子

コンクリート
打設作業時
の様子



11月9日: 空調機などの設備工事も完了

(2)トイレ・シャワー室



LCCが設置した排水タンクの位置が誤っていたため取り出し、再確認を実施

シャベルカーでの掘り直し作業

確認から2日で再設置完了



排水管の付替え作業

トイレドアの再設置



窓枠の計測

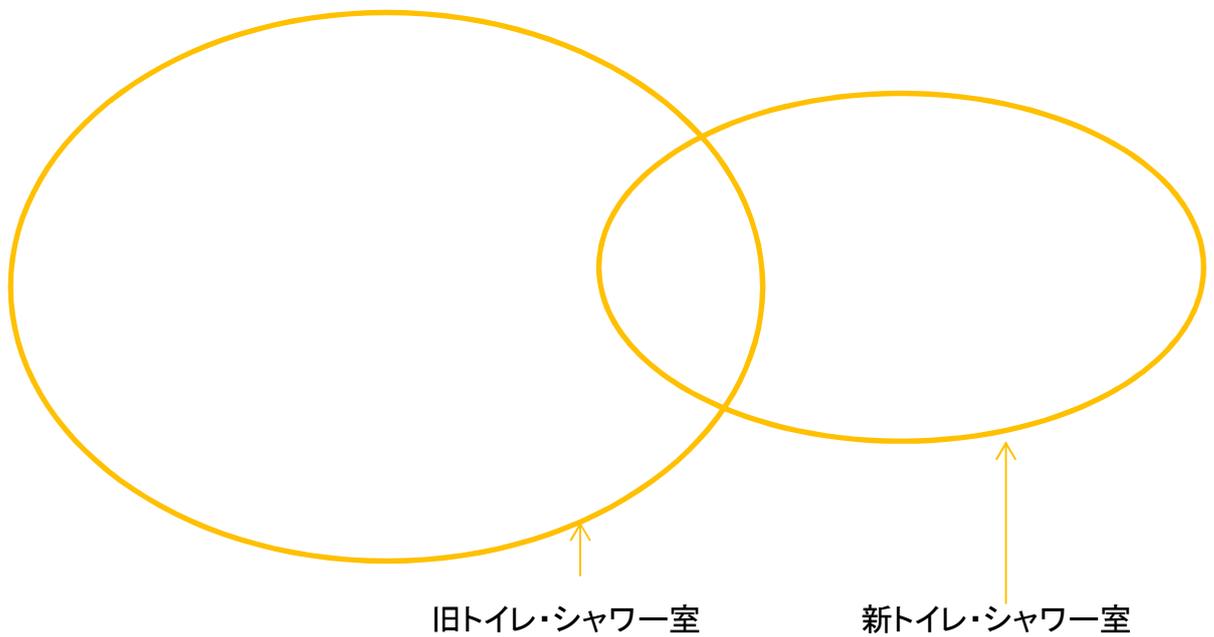
水道の高さについて確認を行う建築専門家
通訳及び現場監督

トイレタイルの確認を行う建築専門家通訳

9月15日



10月9日





トイレ・シャワー室設置施設



Before



After

(3)その他、施設



11月9日：給水タンク、排水溝等の完成工事確認の実施